

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 脳腫瘍に対する覚醒下手術の安全性の報告』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 准教授・齋藤紀彦

【試料・情報の利用目的】

2019年7月1日～2024年1月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科にて脳腫瘍と診断され、覚醒下手術を受けた患者さんの診療録(カルテ)情報より、治療内容や合併症などに関する情報を抽出します。また、本研究にて利用する情報は、術後フォローアップ期間である1年間を含む、2019年7月1日～2025年1月31日までの情報となります。取得した情報は覚醒下手術の治療成績、安全性、患者満足度の向上を目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、治療成績の向上と合併症の低下につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:年齢、性別、併存疾患、腫瘍の病理診断、病変の局在部位、手術時間、術中の覚醒時間、麻酔投与量、術中合併症、神経症状の悪化の有無、術後てんかん、術中(覚醒時)の疼痛、精神的不安の程度 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年4月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2019年7月1日～2024年1月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、脳腫瘍と診断され覚醒下手術を受けた方(おおよそ12名)

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

本研究にて利用する情報は、術後フォローアップ期間である1年間を含む、2019年7月1日～2025年1月31日までの情報となります。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者: 齋藤紀彦 役職: 脳神経外科 准教授

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者：齋藤紀彦 役職：脳神経外科 准教授

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年2月28日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。患者さんご本人はもちろん、代諾者の方からのお問い合わせも受け付けております。代諾者の方の範囲は配偶者、親族、後見人、その他、原則として本人の意思を代弁できる者とします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科

職位・氏名： 准教授・齋藤紀彦

電話： 03-3468-1251 内線： 7435